

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》  
平成29年度施策 評価シート

評価コード 16

施策の方向	職務関係者の資質向上
担当課	男女共同参画課・女性サポートセンター・教育庁教育振興部生涯学習課

1 事業の概要

基本目標	VI	施策の方向	11	施策の内容	DV職務関係者研修等の充実
当初予算額(千円)			713	決算額(千円)	630
事業の概要・目的	124市町村、関係機関への講師派遣（男女共同参画課・女性サポートセンター） 市町村や裁判所など関係機関が開催する研修や講演会等へ職員を講師として派遣するなど、研修機会の確保に努める。				
	125国等で主催する研修への参加（男女共同参画課・女性サポートセンター等） 内閣府等で実施する様々な研修や独立行政法人国立女性教育会館で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上を図るとともに、情報収集に努める。				
	126市町村家庭教育相談員及び子育てサポーター等への研修（教育庁生涯学習課） 市町村家庭教育相談員及び子育てサポーター等がDV及び児童虐待の現状や相談対応等について研修する機会を設ける。				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-		実績		-

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

124女性サポートセンター【当初予算0円・決算0円】 市町村や国等の実施する研修に県職員を講師として派遣した。 市町村派遣 1回（男女課1回） 国等派遣 2回（女サポ2回） 県関係機関派遣 6回（男女課2回・女サポ4回）
125男女共同参画課・女性サポートセンター等【当初予算0円・決算0円】 国等で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上及び情報収集に努めた。 関東甲信越地区婦人保護事業研究協議会 4名参加（男女課2名・女サポ2名） 全国婦人相談所及び婦人保護主管係長研究協議会 3名参加（男女課2名・女サポ1名） 女性に対する暴力被害者のための官官・官民連携促進ワークショップ事業 16名参加 若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修2名参加（男女課1名・女サポ1名） 女性関連施設相談員研修 1名参加（女サポ1名） 婦人相談所等指導者研修 1名参加（女サポ1名）
126生涯学習課【当初予算713千円・決算630千円】 市町村家庭教育相談員及び子育てサポーターリーダー等のための家庭教育研修講座で、DV及び児童虐待の現状や相談対応等の研修を実施（全16講座の中の1講座）した。 11/21 38名参加

(2) 評価（別紙視点参照）

124県職員の派遣により、各機関において研修機会を確保できた。
125各種研修への職員の参加により、職員の資質向上及び情報収集が図られた。
126家庭教育研修講座における研修実施により、市町村家庭教育相談員及び子育てサポーターリーダー等の研修機会を確保できた。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<p>&lt;課題・改善すべき点&gt;</p> <p>124・126DVや児童虐待の増加に伴い、様々な機関や相談員に相談が寄せられるようになっていることから、引続き、広く研修機会を確保していく必要がある。</p> <p>125相談内容が複雑化・多様化していることから、よりきめ細やかな支援が求められており、相談業務に携わる職員の専門知識の習得、資質向上を継続して図っていく必要がある。</p> <p>&lt;今後の方針&gt;</p> <p>124・126引続き職員の派遣や家庭教育研修講座を実施し、幅広い機関における研修機会を確保する。</p> <p>125国等の開催する研修への職員の参加により、職員の専門知識の習得、資質向上を図っていく。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------